

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	保護司会事業			
予算科目	3 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	保護司法			
事業の目的	保護司法に基づき、法務大臣の委嘱を受けて犯罪や非行に陥った人の更生を支援する。「社会を明るくする運動」を計画・実施する。			
事業の内容	伊予地区保護司会へ補助金交付「社会を明るくする運動」の実施(伊予・双海・中山地域)			
改善策の具体的な取り組み(当初)	保護司及び更生保護女性会との連携を密にし、「社会を明るくする運動」の活動について、犯罪を犯さない、また犯罪を未然にふせぐなど人間教育面の啓発を重視いたしたい。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	1,102	1,078	1,071	0
	人件費	159	161	80	161
	合計	0	1,239	1,151	161
人件費内訳	人工数	0.02	0.02	0.01	0.02
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	159	160	80	160
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,261	1,239	1,151	161

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
伊予地区保護司会助成金	千円	874	874	874	874

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	1,069	1,069	0	0	0	2,138

成果指標				
成果指標	各種事業参加者数			
指標設定の考え方	各種事業への参加者数によって、事業の効果を計測する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目標	1500	1400	0	0
実績	1354	1318	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	毎年7月に3地区において「社会を明るくする運動」を開催している。また、各小地区単位で更生保護女性会と合同でミニ集会を開催し、犯罪を犯した方の社会復帰のための地域社会とのつながりなど広く周知している。さらに、青少年の育成健全を目的に学校関係とも連携を図り、状況に応じ情報交換会を行っている。保護司が活動できる拠点場所の確保について要望があるため、検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	近年若犯罪で再犯を繰り返す障がい者や高齢者等が増えてきているのは、受け入れ側の理解と支援が不足しているからである。そのために、犯罪を起こさないように、地域で社会を明るくする啓発活動を行い、犯罪者を受け入れるには、本人の履歴を理解したうえで、住居と職が探せる環境と、更生期間中の見守りを行える地域の保護司会活動の役割が重要であり、人材の確保が不可欠である。行政の支援として、保護司が活動できる拠点場所の確保について、検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	地区保護司会の拠点となる事務所(事務局)の設置を進める。なお、設置経費について、松前町、砥部町にも応分の負担を求めることとする。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。